

OXY NOTES

webクリエイターの作業メモ

[ホーム](#)

[このサイトについて](#)

[更新一覧](#)

[Home](#) > [\[JavaScript, デザイン\]](#) >

現在のページ

公式ドキュメント よりも詳しい TinyMCEの使い 方（基本編）

投稿日：2018年2月19日

11 6 0
9

サンプルとデモページで
実際の動作を通して学ぶ
TinyMCEの設定方法



How To 01

更新情報を配信しています

サイト内検索

検索

以前の投稿「[PukiWikiをビジュアルエディタ（TinyMCE）で編集できるプラグインを作成](#)」で、TinyMCEについて学びました。その際の知見をフィードバックできればと思い、まとめを作りました。

「はじめてTinyMCEを使う」
「TinyMCEをとことんまでカスタマイズしたい」といった方々にお役に立てたら幸いです。

TinyMCEとは

TinyMCEとはリッチエディタの一種です。

リッチエディタとはざっくり言えば**実際の見たと同じ画面で編集できるエディタ**のことです。モニター画面と印刷結果を一致させるために使われた**WYSIWYG（ウィジウィグ）**が有名です。html用途では**TinyMCE**の他に**CLEditor**もよく知られています。

TinyMCEはHTML用のリッチエディタで、**HTMLタグを打つこと無く装飾されたWebページを作ることができます**。

ライセンスが**GPL**のためオープン

記事のカテゴリー一覧

- [Apache](#) (13)
- [BIND](#) (7)
- [Clam AntiVirus](#) (6)
- [CSS](#) (17)
- [Dovecot](#) (4)
- [Excel](#) (3)
- [facebook](#) (13)
- [Firefox](#) (8)
- [Google](#) (50)
- [Illustrator](#) (1)
- [iptables](#) (6)
- [JavaScript](#) (9)
- [jQuery](#) (9)
- [Laravel](#) (2)
- [Linux](#) (81)
- [MySQL](#) (5)
- [Nginx](#) (7)
- [Photoshop](#) (3)
- [PHP](#) (52)
- [phpMyAdmin](#) (3)
- [Postfix](#) (5)
- [PukiWiki](#) (53)
- [Question2Answer](#) (2)
- [SEO](#) (15)
- [Twitter](#) (13)
- [UWSC](#) (3)
- [WordPress](#) (93)
- [Yahoo!](#) (4)
- [アフェリエイト](#) (5)

ンソースのCMSと相性が良く、JavaScriptベースで特別なライブラリが必要ありません。このような理由からWordPressやEVERNOTE、Linked inといった大手でも採用されるなど、多くの実績があります。

WordPressでいうと、編集画面にあるビジュアルエディタがTinyMCEです。



TinyMCEは[公式ドキュメント](#)が充実しています。

Examples & Demosのページ

を見てもらえば分かりますが、様々な使用例も掲載されています。

しかし機能を箇条書きにしたドキュメントなので、初めて利用する方にとってわかりやすいとは言えません。

そこで、このページでは公式ドキュメントを踏襲しつつ、チュートリアル風に、導入方法からボタンを追加するといった高度なカスタマイズまで順を追って解説します。

- [セキュリティ](#) (14)
- [デザイン](#) (35)
- [ロリポップ!](#) (11)
- [書評](#) (3)
- [その他、メモ](#) (102)

新しく追加された記事

[新しいGoogleマップ「Google Maps Platformの使い方」まとめ](#)

[ads.txtの設置方法を通して学ぶインターネット広告の問題点](#)

[Nginxで502 Bad Gatewayの原因が「upstream sent too big header～」の場合の対処法](#)

[「アマレコTV」でWindows 10のPC画面に表示されている動画を撮影する方法](#)

[Windows 10を32bit版から64bit版に変更する方法](#)

PVの多い投稿

SNSで人気の投稿

add?
put?
set?
append?
create?

追加は

[今さら聞けない、変数や関数の命名規則と、まず覚えるべき英単語200](#)
(332,275 Views)

no more

[Google Fontsの日本語フォント「Noto Fonts」の使い方](#) (304,770 Views)

[メールのエラーコードと、メールサーバのmaillog解析方法まとめ](#) (286,000 Views)

[Apacheのmod_rewriteモジュールの使い徹底的に解説](#) (190,442 Views)

TinyMCEのダウンロード

まずは[TinyMCEのダウンロードページ](#)から最新版（2018年2月現在はtinymce_4.7.6.zip）をダウンロードしてください。

最も簡単なTinyMCEの導入方法

テスト用に「**test.html**」を作成し、ダウンロードページに記載されているサンプルを拝借して動作テストを行います。

```
1 <!DOCTYPE html>
2 <html>
3 <head>
4   <script src="js/tinymce/tinymce.min.js"></script>
5   <script>tinymce.init({});</script>
6 </head>
7 <body>
8   <textarea>Next, st
9 </body>
10 </html>
```

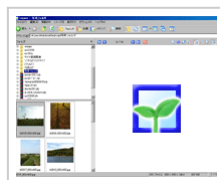
変更したのはJavaScriptへのリンクだけです。

クラウドのものから

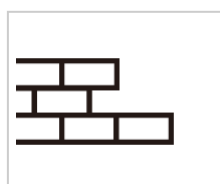
「**js/tinymce/tinymce.min.js**」へ変更。



ユーザーの環境変数を設定するbashの設定ファイルと、カスタムプロンプト…
(181,641 Views)



自炊派・漫画好きにおすすめの漫画ビューア
「Leeyes」 (175,002 Views)



コピペから脱出！iptablesの仕組みを理解して環境に合わせた設定をしよう
(159,642 Views)



誤って削除したGoogle Chromeのブックマークを復元する方法 (156,341 Views)



これ以上ないくらい簡単な例から学ぶ、レスポンシブwebデザインの作り方
(155,029 Views)



Windows 10でネットワークが不安定になった際の対策まとめ (152,410 Views)

他に運営しているサイト

GOいけん

世間を騒がせている、あの話題について言いたい。そんなあなたの「ご意見」を世に問うサイト。

合わせて、先程ダウンロードした
「**tinymce_4.7.6.zip**」を解凍
し「**js**」フォルダを
「**test.html**」と同じ階層に保存
します。

あとはブラウザで開くだけです。

デモ01ページ

簡単に仕組みを解説すると、
tinymce.initの**selector**で
textareaを指定。selectorでは
「**textarea.hoge**」といった具
合にCSSセレクタで指定するこ
とができます。

textareaの部分に記述されてい
るテキストは、サンプルにある通
り、デフォルトの入力値になりま
す。

エディタの各部名称は以下のとお
りです。

解説を進めるにあたり理解が欠か
せないため、覚えておいてくださ
い。

TinyMCEを日本語に対 応させる方法



SUKEGRA

「スケグラ」は日本語でプログラミングの悩み
を解決するQ&Aサイトです。



アクアリウムWiki

アクアリウムに関することをみんなでまとめる
Wikiです。



このままでは英語なので、日本語化します。

公式のLanguage Packagesページ

で日本語用ファイルをダウンロードします。

解答したlangsフォルダの

「ja.js」を「js/tinymce/」にある「langsフォルダ」へ移動します。

つづいてtinymce.initに

language: "ja"という項目を追加します。

```
1 <!DOCTYPE html>
2 <html>
3 <head>
4   <meta charset="UTF-8">
5   <script src="js/tinymce/tinymce.min.js"></script>
6   <script>tinymce.init({
7     selector: "textarea",
8     language: "ja" //
9   });</script>
10 </head>
11 <body>
12   <textarea>Next, st
13 </body>
14 </html>
```

これで以下の通り日本語化できます。

日本語化した デモ02ページ

エディタの外観を変更する方法

外観を変更する方法は公式の

[Editor Appearanceページ](#)で

解説されています。

チュートリアルが用意されていないためこのページを通して TinyMCEのカスタマイズについて学んでいきます。

[brandingというオプション](#)を例に公式ドキュメントの見方を解説します。

この項目はエディタの下部に表示されている「**Powered by TinyMCE**」というクレジットを削除するオプションです。

解説にある「**Type**」は **tinymce.init**で指定する項目です。

「**Default Value**」はそのまま初期値。

「**Possible Values**」は入力可能な値です。

「**Example**」でサンプルも表示されているのでわかりやすいですね。

では上のサンプルを元に、テストしてみます。

```
1 | tinymce.init({
```

```
2 selector: "textarea",  
3 language: "ja", // 言語  
4 branding: false // ク  
5 });
```

javaScriptに慣れている方は問題ないと思いますが、**理論値** **(true, false)** はクォーテーションで囲まないようにしてください。

また、複数項目がある場合でも最後の項目にカンマ (,) は必要ありません。

クレジットを削除した デモ03ページ

「Powered by TinyMCE」というクレジットが消えています。公式ドキュメントによると、特にクレジットは無くてもかまわないとのこと。

custom_ui_selector

続いて**custom_ui_selector**を編集してみます。

解説をざっくり翻訳します。いわく「このオプションは編集者がエディタの一部として扱う要素を指定できる。ここで指定した要素はblurイベントが発生しない。」


```
8    });  
9    }  
10   });
```

実際にテストしてみます。

blurイベントのテスト デモ04ページ

Chromeで右クリックから「検証」を選び「**Console**」タブを開きます。

続いて一度エディタをクリックした後にエディタ以外の要素をクリックしてください。

するとコンソールログに以下のよう出力されます。

これが**blur**イベントです。

このイベントを利用すればエディタをクリックした際にテキストの要素を全選択したり、特定のウィンドウを表示したりと便利なイベントですね。

このイベントの対となる、

Focusイベントも存在します。

では本題の

custom_ui_selectorについてです。

custom_ui_selectorを指定した要素をクリックした際は**blur**

イベントが実行されません。実際

にテストしてみます。

```
1  <!DOCTYPE html>
2  <html>
3  <head>
4    <script src="js/tiny"
5    <script>tinymce.in
6      selector: "textare
7      language: "ja", //
8      branding: false, /
9      custom_ui_selecto
10     init_instance_callk
11     editor.on('blur', f
12       console.log('Ec
13     });
14   }
15 });
16 </script>
17 </head>
18 <body>
19   <textarea>Next, st
20   <button class="my
21 </body>
22 </html>
```

custom_ui_selectorのテスト

デモ05ページ

上と同じようにConsoleタブで見
てみます。エディタをクリックし
た後、Buttonをクリックしてみ
てください。

blurイベントが実行されていない
ことを確認していただけると思
います。

Button以外をクリックしてみてください。今度はブライイベントが実行されます。

用途としては複数の入力項目からなる投稿画面で編集領域から外れた場合だけ実行したいイベントを登録するといった用途でしょうか。

TinyMCEのドキュメントは名前順に箇条書きになっているだけなので、説明を読んだだけでは理解できないものが多く存在します。

サンプルやデモもそのままでは動作しないものが散見されます。そのためこの解説でしたように、わからない事があったらドキュメント内を検索してみてください。

では他にどのようなオプションがあるのか、ざっくり解説していきます。

elementpath

エディター下部に表示されるステータスバーのパス表示を制御。

（入力した要素にフォーカスした際に表示される<p>などの表示）

```
1 tinymce.init({  
2   selector: "textarea",
```

```
3 language: "ja", // 言語
4 elementpath: false
5 });
```

elementpathのテスト デモ06

ページ

event_root

inlineモード時にイベントルートとして使用される要素のCSSセレクタを指定できる。

event_rootを解説するにあたりinlineモードの理解が欠かせないので解説します。inlineモードとはエディタに文章を入力するタイプではなく、通常の文章を編集するモードです。

以下のように使用します。

```
1 <!DOCTYPE html>
2 <html>
3 <head>
4   <meta charset="UTF-8">
5   <script src="js/tinymce.js">
6   <script>
7     tinymce.init({
8       selector: "div.editor",
9       inline: true,
10    });
11  </script>
12 </head>
13 <body>
14
```

```
15 <div class="editable"
16 <p>この文章はダミー
17 </div>
18
19 </body>
20 </html>
```

inlineモードのテスト デモ07ページ

デモページの文章をクリックしてみてください。ツールバーが表示され、通常の段落が編集可能になります。

上の例ではselectorで指定していた**div.editable**という要素が全て編集可能になります。ここで本題の**event_root**の使い方です。以下のように指定します。

```
1 <!DOCTYPE html>
2 <html>
3 <head>
4   <meta charset="UTF-8">
5   <script src="js/tiny"
6   <script>tinymce.init({
7     selector: "div.editable",
8     inline: true,
9     event_root: 'root'
10  });
11 </script>
12 </head>
13 <body>
14
15 <div class="root">
16 <div class="editable"
17 <p>この文章はダミー
```

```
18 </div>
19 </div>
20
21 <div class="editable"
22 <p>この文章はダミー
23 </div>
24
25 </body>
26 </html>
```

event_rootのテスト デモ08ページ

2つの段落がありますが、どちらも**editable**というクラスが指定してあります。ただし、上の段落には**root**というクラスを指定しています。

event_rootで**root**としているため、上の段落のみ編集することができます。

fixed_toolbar_container

inlineモード時にツールバーを表示する場所を指定します。

```
1 <!DOCTYPE html>
2 <html>
3 <head>
4   <script src="js/tiny
5   <script>tinymce.in
6     selector: "div.edita
7     inline: true,
```

```
8      fixed_toolbar_container
```

```
9      });
```

```
10     </script>
```

```
11   </head>
```

```
12   <body>
```

```
13
```

```
14     <div class="editable">
```

```
15     <p>この文章はダミー
```

```
16     </div>
```

```
17
```

```
18     <div class="mytoolbar">
```

```
19
```

```
20   </body>
```

```
21 </html>
```

fixed_toolbar_containerのデモ09ページ

文字の部分をクリックすると

「**Toolbar**」と書かれたdiv要素の部分にツールバーが表示されます。

height

エディタを開いた状態のデフォルトの高さを指定します。（ピクセル）

指定した高さは編集可能領域の高さで、メニューやステータスバーなどの高さは含まれていません。

```
1  tinymce.init({
```

```
2    selector: "textarea",
```

```
3    height : 300
```



```
4 | });
```

heightのテスト デモ10ページ

inline

上記の例に出てきました。解説が前後していますが、エディタの身を編集するというタイプではなく、指定した通常のテキストを編集することができます。

```
1 | tinymce.init({
2 |   selector: "textarea",
3 |   inline: true
4 | });
```

上のデモ09ページをご覧ください

insert_button_items

ツールバーにインサートタイプのボタンを追加する項目です。インサートタイプはプラスマークをクリックするとプルダウンメニューが開くタイプのボタンです。

この項目に指定できるのは

[Editor Control Identifiers](#)へ

ージにある、Menu controlsの

項目のみです。

唐突にEditor Control

Identifiersという言葉が出てきました。しかもこの項目のサンプルはそのまま記述しただけでは動作しません。一旦エディターコントロール識別子の解説をします。

識別子の項目は以下のようになっています。

「**Control**」はそのまま項目名です。

「**Core/Plugin**」に「**core**」という項目があります。これはTinyMCEの本体にはじめから備わっている機能です。この項目は**insert_button_items**に記述すればすぐに使えます。

問題は下の方にスクロールすると現れる**link**や**image**といった青いリンク文字で書かれた項目です。これらの要素はそのまま利用することができません。

「**plugins**」という項目で指定する必要があります。

```
1  tinymce.init({
2    selector: "textarea",
3    toolbar: 'insert',
4    plugins: "image link"
```

```
5     insert_button_items
6   });
```

pluginsとinsert_button_items
はともにスペース区切りで複数の
項目を指定します。
insert_button_itemsのパイプは
区切り線です。ちなみに
inserttableはtableプラグインの
一部なので、pluginsではtableを
指定しています。

insert_button_itemsのテスト デモ11ページ

他にも**external_plugins**という
オプションを利用すれば外部（別
サーバ）のプラグインを指定する
こともできます。
こちらは{}で囲んで、プラグイン
名とURLを記述する形式です。

```
1   tinymce.init({
2     selector: 'textarea',
3     external_plugins: {
4       'testing': 'http://www
5       'maths': 'http://www
6     }
7   });
```

insert_toolbar

inliteというテーマ利用時に使用するツールバーを変更することができます。

テーマという新しい概念が出ました。テーマはTinyMCEで用意している様々な用途に合わせたデザインのセットです。inliteテーマはinlineモード時に利用する、簡易的なツールバーです。

試しに以下の設定でインライトテーマのツールバーを表示してみます。

```
1 <!DOCTYPE html>
2 <html>
3 <head>
4   <meta charset="UTF-8">
5   <script src="js/tinymce.js">
6   <script>
7     tinymce.init({
8       selector: 'div.tinymce',
9       theme: 'inlite',
10      inline: true
11    });
12  </script>
13 </head>
14 <body>
15   <div class="tinymce">
16     <p>この文章はダミー文章です。
17   </div>
18 </body>
19 </html>
```

inliteのテスト デモ12ページ

文章を選択すると以下のようなツールがでます。



続いて改行すると別のツールが出ます。



この改行して出るツールが **insert_toolbar** で設定する項目です。

画像にあるように、デフォルトは画像を挿入と、テーブルを挿入するツールバーです。今回はこれにリンクを追加する **quicklink** を追加してみます。

```
1  tinymce.init({
2    selector: "div.tinymce",
3    theme: "inlite",
4    inline: true,
5    insert_toolbar: 'quicklink',
6  });
```

insert_toolbarのテスト デモ

13ページ



改行するとクイックリンクが追加されています。

max_height

ユーザーが引き伸ばすことのできる最大サイズの制限。

max_widthという横バージョンも存在します。

多くの場合、大きなお世話ですね。

```
1 | tinymce.init({  
2 |   selector: 'textarea',  
3 |   max_height: 500  
4 | });
```

max_heightのテスト デモ14ページ

エディタの右下をドラッグして下に広げても500px以上は伸びません。

menu

メニューバーに表示する項目を設定します。

設定可能な項目は**Menu controls**にあります。

書式は以下のとおりです。

```
1 | file: {title: 'File', items:
```

最初の「**file:**」がメニューに表示する項目。「**title**」がメニューのラベル。「**items**」がクリック時に表示されるメニューです。

itemsに複数の項目を登録するにはスペース区切りで、区切り線を入れてグループ化するにはパイプ「|」を間にはさみます。

公式にある以下のサンプルにはしれっとtableなどを指定していますが、これらはプラグイン要素なので、pluginsで追加しない限り反映されません。

```
1  tinymce.init({
2    selector: 'textarea',
3    menu: {
4      file: {title: 'File', ite
5      edit: {title: 'Edit', it
6      insert: {title: 'Insert
7      view: {title: 'View',
8      format: {title: 'For
9      table: {title: 'Table
10     tools: {title: 'Tools
11   }
12 });
```

反映させるには以下のようにする必要があります。

ちなみにtitleに特定の文字を入力すると日本語化が無効になるので注意してください。（対策としては、日本語化ファイルに対応する

項目を追加するか、そもそも日本語で登録する)

```
1  tinymce.init({
2    selector: 'textarea',
3    language: "ja", // 言語
4    plugins: "table spellchecker",
5    menu: {
6      file: {title: 'File', items: []},
7      edit: {title: 'Edit', items: []},
8      insert: {title: 'Insert', items: []},
9      view: {title: 'View', items: []},
10     format: {title: 'Format', items: []},
11     table: {title: 'Table', items: []},
12     tools: {title: 'Tools', items: []},
13   },
14 });
```

menuのテスト デモ15ページ

メニューの項目に「表」などが追加されていることを確認してください。

サンプルにはスペルチェックを可能にするspellcheckerという項目がありますが、これは特別な設定が必要です。導入の手順が

PHP Spellchecker

componentという項目にまとめられています。

PHPのライブラリをインストールしたり、言語に合わせた単語一覧をダウンロードしたりと手間がかかります。ちなみに日本語は対

応していません。（上のデモでは動作しません）

menubar

上で解説したmenuの項目とその表示順を指定できます。

スペース区切りで指定します。

```
1  tinymce.init({
2    selector: 'textarea',
3    language: "ja", // 言語
4    plugins: "table tools",
5    menubar: 'file edit insert view format',
6  });
```

デフォルトは「**file, edit, view, format**」です。

繰り返しになりますがtableなどはpluginsで指定しないと表示されません。

menubarのテスト デモ16ページ

menubarは追加する項目だけでなく「**menubar: false**」とすることで無効にすることも可能です。

menubar無効のテスト デモ17ページ

min_height, min_width

max_heightの最小値版。エディタの右下をドラッグして縮小できる最小値を指定。max_widthは横幅。

```
1  tinymce.init({
2    selector: 'textarea',
3    min_height: 100,
4    min_width: 400
5  });
```

mobile

モバイル（スマホ等）で読み込んだ際に有効になる設定です。

mobileという項目に入れ子状にテーマやプラグイン、ツールバーを指定します。

モバイルの状態で利用できるツールなどは「[TinyMCE Mobileのページ](#)」をご覧ください。

公式のサンプルは以下の通り（公式のままだとカンマが抜けていて動作しないので注意）

```
1  tinymce.init({
2    selector: 'textarea',
3    language: "ja", // 言
```

```
4     plugins: [ 'code', 'lis
5     mobile: {
6         theme: 'mobile',
7         plugins: [ 'autosav
8         toolbar: [ 'undo', '
9     }
10  });
```

mobileのテスト デモ18ページ

スマホでアクセスすると以下のよ
うなモバイル用のインターフェイ
スになります。



preview_styles

プレビューをした際に、装飾の何
を有効にするかを指定することが
できるとのこと。

ただし実際にテストしたところ動
作しません。ちなみにサンプルの
通り書いてもプレビューすら動き
ません。

以下のようにすればメニューバー
と、ツールバーにプレビューとい
う項目が表示されます。（ただし
preview_styles: falseとしても
装飾されて出力されてしまいま
す）

```
1  | tinymce.init({
```

```
2 selector: 'textarea',
3 language: "ja", // 言語
4 plugins: "preview",
5 menubar: "view",
6 toolbar: 'undo redo
7 mode: 'textareas',
8 preview_styles: false
9 });
```

そもそも、わざわざプレビューと
いう機能を付けるのに、装飾を無
効にするという状況になることが
ないのではないのでしょうか。

preview_stylesのテスト デモ

19ページ

removed_menuitems

メニューバーのアイテムを削除す
る時に利用します。menubarの
項目を制御する際に利用します。
以下の例では「**元に戻す、やり直
す (undo, redo)**」を削除しま
す。

```
1 tinymce.init({
2   selector: 'textarea',
3   language: "ja", // 言語
4   menubar: 'file edit vi
5   removed_menuitem
6 });
```

removed_menuitemsのテスト

ト デモ20ページ

resize

ウィンドウ右下にあるサイズ変更用のハンドルを無効にしたり、縦にだけ伸びるようにしたりといった変更が可能です。

Disabling the resize

trueがデフォルトで、縦にだけサイズ変更できます。

falseが無効でサイズ変更が不可能になります。

bothは縦横どちらにも変更が可能です。

以下はbothの例

```
1  tinymce.init({
2    selector: 'textarea',
3    language: "ja", // 言語
4    resize: 'both'
5  });
```

resize bothのテスト デモ21ページ

selection_toolbar

inlineモード時に表示されるツールバーの表示を変更します。

削除すると言った用途ではなく、追加する際に使うもののようです。以下、リンクを追加した場合。（公式のサンプルだと通常のinlineモードと何も変わらない）

```
1  tinymce.init({
2    selector: 'div.tinymce',
3    language: "ja", // 言語
4    plugins: "link",
5    inline: true,
6    selection_toolbar: 'link',
7  });
```

[selection_toolbarのテスト デモ22ページ](#)

skin_url

オリジナルのスキンを使用している場合、スキンファイルへのパスを指定します。

スキンモバイルやinlineといったテーマとは違い、見た目を変えるためのものです。デフォルトは**lightgray**というスキンが適応されています。

オリジナルのスキンは[TinyMCE](#)

– [Skin Creato](#)というサイトで作成することができます。好きな色合いを設定したらダウンロードして、パスを指定するだけで利用できます。

```
1  tinymce.init({
2    selector: 'textarea',
3    skin_url: 'custom'
4  });
```

[skin_urlのテスト デモ23ページ](#)

skin

スキン名を指定します。

オリジナルスキンの詳しい作り方

は[Create a Skin for](#)

[TinyMCE](#)をご覧ください。

```
1  tinymce.init({
2    selector: 'textarea',
3    skin: "charcoal"
4  });
```

statusbar

エディタ下にあるステータスバーを非表示にすることができます。

無効にするとサイズを変更したり、パスを表示する機能も無効になります。

```
1  tinymce.init({
2    selector: 'textarea',
3    statusbar: false
4  });
```

statusbarのテスト デモ24ページ

theme, theme_url

themeはテーマを指定することができます。デフォルトのテーマはmodernです。今まで見てきた通り、mobileやinline等を設定できます。

theme_urlはテーマファイルの場所を指定します。

```
1  tinymce.init({
2    selector: 'textarea',
3    theme: 'modern',
4    theme_url: '/mythem
5  });
```

toolbar

ツールバーに表示する項目を選択
することができます。
複数記述する場合はスペース区切
りで、グループ化するにはパイプ
(|) を利用します。

```
1 tinymce.init({  
2   selector: 'textarea',  
3   language: "ja", // 言語  
4   plugins: "link image"  
5   toolbar: 'undo redo  
6 });
```

何度も解説していますが、

Toolbar controlsでcoreにない
項目はpluginsで指定する必要が
あります。

falseでツールバーを無効にする
こともできます。

toolbar無効のテスト デモ25ペ ージ

ツールバーを複数行で表示するに
は[]で囲んで、二行で記述しま
す。

```
1 tinymce.init({  
2   selector: 'textarea',  
3   language: "ja", // 言語  
4   plugins: "link image"  
5   toolbar: [  
6     'undo redo | styles  
7     'alignleft aligncenter  
8   ]
```

```
9 | });
```

上のツールバーを複数行記述するタイプの別バージョンもあります。ナンバーを付けて複数行で記述します。

```
1 | tinymce.init({
2 |   selector: 'textarea',
3 |   language: "ja", // 言語
4 |   plugins: "link image"
5 |   toolbar1: 'undo redo
6 |   toolbar2: 'alignleft a
7 | });
```

[toolbar\(n\)のテスト デモ26ページ](#)

width

エディターの横の幅を設定します。

```
1 | tinymce.init({
2 |   selector: 'textarea',
3 |   width : 300
4 | });
```

[widthのテスト デモ27ページ](#)

以上、TinyMCEの外観に関する
カスタマイズの方法でした。
メニューバーやツールバーのカス
タマイズといった基本的なものか
ら、テーマや、スキン、プラグイ
ンといったTinyMCE独自の実装
についても理解していただけたと
思います。
目的に合わせて自由にカスタマイ
ズしてみてください。

「[次のページ](#)」ではオリジナルボ
タンの追加や、カスタムウィンド
ウの追加など、高度なカスタマイ
ズについて解説します。

現在のページを共有する

6

11

0

9

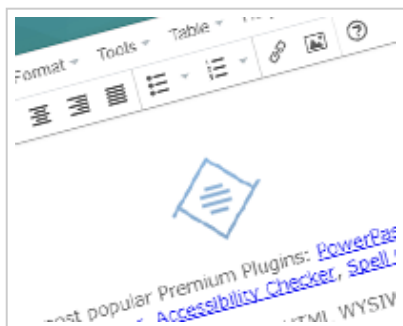
3

0共有する

現在のページに関連する記事



公式ドキュメントよりも詳しい
TinyMCEの使い方（応用編）



PukiWikiをビジュアルエディタ（TinyMCE）で編集できるプラグインを作成



人気の画像掲示板
「JoyfulNote」でスパム対策を追加



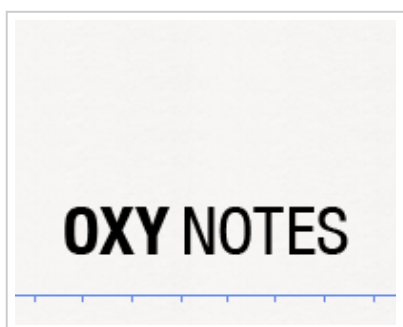
Firefox機能拡張のポップアップとコンテンツスクリプトについて



5段階評価プラグインを通して学ぶPukiWikiのプラグインを作成する方法



Chrome機能拡張とGoogle Analyticsを組み合わせ利用状況を把握する



PukiWikiで複数行のコメントを挿入

おすすめの記事



最新のXAMPPをインストールし、安全・高速に運用する方法



PukiWikiで5段階評価を付ける
プラグインを作成しました



DNS Amp攻撃の解説と、踏み
台にされないためのBIND DNS
の設定



知らなきゃ損！WordPressの
表（テーブル）はExcelで作ろ
う！



rsyslogを利用したログファイ
ル作成と、logrotateを利用し
た口…



メールのエラーコードと、メールサーバのmaillog解析方法まとめ



エンティティとデコード用プラグイン「Entity Decode Button」 …



Norikraの使い方をサンプルのクエリとイベントを交えて解説

コメントを残す

コメントは認証制のため、すぐには反映されません。

プログラミングに関する質問は

「[日本語でプログラミングの悩みを解決するQ&Aサイト](#)

[sukegra](#)」をご利用ください。

コメント

名前

コメントを送信